

哲學研究

第五百六十二號

平成八年十月十日發行

彙報

對話と想起……………内山勝利

——プラトン哲学の「方法」——「その二」

知覚と認知の計算理論……………乾敏郎

デカルトの「大いなる傾向性」……………倉田隆

——『省察』における物体の存在証明の一考察——

ハイデッガーにおける物の超越性の問題

と現代社会の危機……………吉本浩和

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円(数冊分)を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に出席することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

京都哲学会役員

委員

山宮御水松寶藤藤長中中徳筒藺清佐加苧内内内岩井乾伊伊池芦
本島牧垣田月田谷村畑永井田^水木藤阪山山井城上 藤藤田名
耕久克 素 正和正俊正宗清 丞尚直俊勝惣見 敏邦和秀定
平雄己涉二誠勝生當春志雄忠坦明平武行彦利七一俊郎武行三道

会
告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月三日(日)午後一時半

会場 楽友会館

一、ことばと思索……………京都大学教授 藤田正勝

——とくに日本語と日本の哲学をめぐって——

一、理性とは……………京都大学教授 荒牧典俊

※ 右終了後京大会館において懇談晚餐会(パーティー形式)を開きます。(会費五千円)

※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京都哲学会までお申出下さい。

※ 当分の間、本学会公開講演会は毎年十一月三日に、開催いたします。

平成八年九月

京 都 哲 学 会

野崎賢也 近代日本における「農本主義」の社会学的考

察

美学美術史学

浅谷純子 一四世紀ボローニヤ絵画——物語画に見る写

本との関係——

山口洋三 アジア現代美術と『美術館』——福岡市美術館の試み『アジア美術展』にみる『アジア現代美術』——

代美術』——

吉竹彩子 河井寛次郎 初期から中期への変遷をめぐって

十 博士後期課程学修者氏名(哲学系)

——平成七年三月——

哲学……山下和也、竹島尚仁、出口康夫

倫理学……白水土郎、古田裕清

西洋哲学史……大内和正、木下昌巳

宗教学……布施圭司、松本直樹

仏教学……塩見佳正、宮崎泉

美学美術史学……加藤素明、鄭禮京、西田兼

心理学……蘆田宏、牧野圭子

社会学……宇城輝人、小瀬木えりの、北垣徹、沼尻正之、

古川誠、鎌田大資

次号論文予告

ケインズの哲学思想……伊藤邦武

——『確率論』の以前と以後——

種の論理とグローバル・

ヴィレッジの批判……J・W・ハイジック

ガンのヘンリックスにおける

〈本質存在〉と〈現実存在〉……加藤雅人

ソクラテスの徳概念……朴一功

前号目次

建築と自律的芸術……オットー・ペゲラー

真理・個・本質……藤本温

——オウベルニエとアキイナス——

リクールにおける反省哲学と

解釈学……岩田文昭

生と死……

——ベルクソニズムからの寄与——戸島貴代志

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は606-01京都市左京区吉田本町京都大学文学部内京都哲学会(振替口座京都二一四〇三九番 京都哲学会)宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円(数冊分)をお払込下さい。

又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に関する一切は東京都千代田区麹町二一六一七創文社(振替口座〇〇一〇二〇〇一九二四七二)宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

606-01 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
〇七五七五三二八一三

平成八年十月五日 印刷
平成八年十月十日 発行

編輯兼 京 都 哲 学 会
発行人 京 都 哲 学 会

編輯委員

代表

長 谷 正 當
蘭 田 正 坦
佐 々 木 丞 平
内 井 惣 七

発 売 所 株 式 創 文 社

久 保 井 浩 俊

102 東京都千代田区麹町二一六一七
電話 〇三三三三六三七一〇一
振替 〇〇一〇二〇〇一九二四七二

印 刷 所

暁 印 刷 株 式 会 社
112 東京都文京区関口一四四一四

註 文 規 定

一、会員以外の購読者の御注文及び広告掲載に関する件は「創文社」へ御申込下さい。

一、本誌の御注文はすべて代金送料共(一部、送料七三円)前金にてお送り下さい。

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 562

October

1996

Articles

Dialogue and Anamnesis:

An Introduction to the Method of

*Plato's Philosophy (Part 1)*Katsutoshi Uchiyama

Computational Theory of Visual Perception

*and Cognition*Toshio Inui

Magna Propensio chez Descartes

—*Sur la preuve de l'existence des choses*

corporelles—

Takashi Kurata

Probleme der Transzendenz des Dinges und

Krise der modernen Gesellschaft bei

*Heidegger*Hirokazu Yoshimoto

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-10 特別定価 2,472 円 (本体 2,400 円)